

# 公益財団法人ふくい産業支援センター

## 平成28年度 事業報告

### 概要

我が国経済が緩やかな回復を続ける中で、当センターでは平成27年4月に福井県が改訂した「福井経済新戦略」にもとづき、新たな事業にも取り組むなど、県内企業の新分野進出等を促進する中核的支援機関として県や他の機関等と連携を図りながら、新しい取り組みに意欲的にチャレンジする企業を積極的に支援しました。

ネット通販の運営スキルを習得するワークショップの新規開催に加え、ITを活用した企業家や女性起業家などを講師としたセミナーや交流会により、創業者の掘起しを行ったほか、女性創業相談窓口での相談対応や創業マネージャーによる伴走型の支援により、創業の後押しと事業化までの支援を行い、起業・創業の促進を図りました。

テレビ通販業者と連携した特集番組を初めて放映し、本県地域産品と観光を紹介したほか、大手食品卸売企業や近畿各府県の企業等との商談会の開催や、こだわりの食品を集めたバイヤー向けWEBサイト等を通じて、特徴ある県内企業の商品・技術の県外への販路開拓や受注獲得を支援しました。

ふくいの逸品創造ファンドによる恐竜ブランドを活用した新商品開発や医療分野や観光分野での商品開発に対する助成の他、地域に親しまれている老舗企業の店舗改装等に対して費用の一部を助成しました。

本県に高機能新素材やライフサイエンス産業の一大拠点形成するため設立された「ふくいオープンイノベーション推進機構」で行う産学官金の共同研究を、県等と連携して積極的に支援・実施すると共に、本県と石川県の繊維企業による連携体が行う新商品開発・販路開拓に対する助成や、産業技術総合研究所等と県内企業とのマッチングや共同研究に向けた可能性試験調査研究等の実施をとおして、新たな成長産業分野への技術開発を支援しました。

サンドーム福井に移転したデザインセンターと連携し、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点となる「福井ものづくりキャンパス」において、ものづくり企業、職人、デザイナー、学生など幅広い層を対象に講座・教室等を開催するなど、地場産業や伝統工芸品等を中心とした売れる商品づくりを支援しました。

中小企業産業大学校では、これまでの体系的な集合研修の開催に加え、県内ものづくり企業の業務改善等を現場で指導する人材を育てる「福井ものづくり改善インストラクタースクール」を新たに開講し、平成29年度からのインストラクター派遣に向けた人材育成を行いました。

## 事業報告

### 経営相談、創業・経営革新支援、経営情報の収集・提供に関する事業 【公益目的事業1】（445,651,290円）

中小企業等が抱えるさまざまな経営課題に対して、各分野の専門家の適切な助言や施策あつせん、創業間もない企業や新商品開発・新事業展開に取り組む企業への事業計画作成支援・課題解決への助言および取組みの推進、中小企業のIT活用の促進、企業経営に役立つ地域経済・産業および中小企業動向等に関する情報提供を行いました。

#### （1）経営相談サポート（7,596,532円）

##### ①総合相談

企業経営に関する幅広い知識と財務や技術等の専門的なノウハウを持つ中小企業診断士が総合相談窓口において、職員と連携しながら創業、経営革新、IT活用等の相談に対して適切な助言を行いました。

○相談実績 990件 うち女性経営者からの相談 144件

《主な相談内容》

- ①融資・補助金に関する相談（43%）
- ②経営指導に関する相談（32%）
- ③新規創業に関する相談（7%）
- ④経営革新に関する相談（5%）
- ⑤情報提供に関する相談（5%）
- ⑥販路開拓に関する相談（3%）

##### ②創業・新事業展開ワンストップ相談会

創業者や経営革新等に取り組む中小企業者等が抱える悩みに応えるため、当該分野の専門家を交えた相談会を各地で開催し、適切なアドバイスを行いました。

○相談会開催回数 15回 相談実績 71件

#### （2）嶺南サテライトオフィス設置（218,775円）

嶺南地域にサテライトオフィスを設置し、地域の巡回等を通じて経営相談対応や起業・創業等のサポートを行いました。

○嶺南企業訪問数 1,002社 施策活用実績 361件

また、29年4月の本格稼働に向けて、アクアトム内にサテライトオフィスを移転しました。

#### （3）専門家派遣（5,109,090円）

創業を目指す起業家や中小企業者等が抱えている技術開発、商品開発、マーケティング、情報化等、様々な経営課題を解決するため、それぞれの分野に精通した知

識や経験を有する専門家を相談者の事業所に派遣し、課題解決のための適切な指導・助言を行いました。

○派遣先企業数 16社 派遣回数 137回

○登録専門家数 95人

※参考 [類似事業]：中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援（近畿経済産業局ミラサポ専門家派遣）での専門家派遣（無料、原則1企業3回まで）  
派遣先企業数 42社 派遣回数 96回

#### (4) よろず支援拠点 [経済産業省委託] (45,719,314円)

中小企業・小規模企業者の経営支援体制をさらに強化するために国が設置した本県の「よろず支援拠点」として、よろず支援コーディネーター等と共に総合的先進的経営アドバイスや、的確な支援機関・支援施策等の紹介等をワンストップで行いました。

○相談実績 2,129件

#### (5) 高度化事業診断・指導 (1,397,996円)

##### ①高度化事業診断受託

県が実施する中小企業高度化事業について、集団化診断、共同施設診断等の診断や事後助言業務を受託しました。

○診断件数 6件

##### ②高度化資金貸付先指導受託

県の高度化資金貸付先に対して、経営状況の把握や経営指導を行う業務を受託しました。

○指導件数 6件

#### (6) Eビジネス・キャリアアップ支援 (3,135,451円)

県内中小企業等のインターネットを活用した商品・サービスの販路拡大の支援を強化するため、WEBサイトの構築やマーケティングなどネット通販・取引に関する資料の収集および情報提供や、支援施策の紹介・あっせん等を一元的に行う「ネット通販・取引支援センター」を運営しました。

また、これからネット通販の運営を検討している県内の学生、女性を対象にワークショップを実施するとともに、参加者とネット通販の運営者の交流会を開催することで県内Eビジネス人材の強化を図りました。

○ネット通販取引支援センターの運営

・来訪者数 1,329人 資料貸出利用件数 2,192件

- ・相談対応件数 203件
- 新** ネット通販の運営スキル習得ワークショップと交流会の開催
- ・開催回数 年8回 参加者数 90人

(7) 福井県産業情報センター運営 (108,256,637円)

①産業情報センター施設運営

県からの指定を受け、福井県産業情報センターの各施設・設備の貸出業務や維持管理等の運営業務を行いました。平成26年度に改修した、小割化した入居施設やコワーキング<sup>(\*)</sup>スペース、マルチメディアサポートセンターに整備したインターネット配信機器等を有効に活用しITベンチャーが利用しやすい環境を提供して、情報化に関連した創業者の育成、情報産業振興の拠点施設として利用促進を図りました。

〔 ※フリーランスの方や起業家などが事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う新しいワークスタイルです。 〕

<施設の入居および貸出件数>

- インキュベートルーム、共同研究室、技術開発室の入居件数 332件
- マルチホール、会議室等の施設貸出件数 706件
- マルチメディア制作コーナーの施設貸出件数 88件
- コワーキングスペース利用者数 2,251人
- 嶺南支所パソコン実習室の施設貸出件数 11件

②情報化人材育成

県内の情報化人材の育成・確保を図り、中小企業等の情報化を支援するため、日常業務に役立つ実践的な研修やインターネット販売等の電子商取引(EC)などの各種研修を産業情報センターおよび嶺南支所で実施しました。

- ITコース 50講座(82回) 受講者数 735人

(8) ITセミナー(1,409,012円)

インターネットの業務活用を目指す県内の中小企業やIT関連の事業者等を支援するために、インターネットの活用手法や実践的な活用事例、オープンデータやITツールの最新動向に関するセミナーを行うとともに、セミナー参加企業間の情報交換やビジネスマッチングを目的とした交流会や最新のIT技術を活用したアプリ開発合宿を行いました。

- IT活用販路拡大セミナー・交流会 1回 受講者数 59人
- IT技術活用セミナー・交流会 3回 受講者数 186人
- ご当地アプリ開発合宿 6回 受講者数 86人
- 地元IT企業と中小企業のビジネスマッチング 1回 共同出展 8社

**(9) 学生ソフトコンペ (632, 779円)**

オープンデータなどを活用した学生対象のソフトコンペティションを実施しました。アプリケーション作品などを公募・審査し、情報技術を担う人材の育成を図りました。

○大賞1点、部門賞2点、福井県IT産業団体連合会会長賞1点、  
協賛企業賞 14点

**(10) 経営安定アフターフォロー (932, 666円)**

創業間もない企業や経営革新計画の承認を受けた企業などが事業を遂行する上で抱える経営上の悩みや問題を早期に把握し、それら課題の解決を図るため、創業・新事業コーディネータとセンター職員が、相談者の事業所を訪問して指導・助言を行いました。

○訪問企業数 50社 (経営革新40、専門家派遣8、制度融資等2)

**(11) 産業情報提供 (5, 490, 329円)**

①情報誌「FACT (ファクト)」発行

○年6回 (偶数月発行) 発行部数 3, 900部/回

②インターネットによる情報提供

当センターのホームページにより、経済・産業関連の各種統計データや新聞記事タイトル情報、調査報告など企業経営に役立つ情報を発信しました。

**(12) ふくいナビ等機器管理 (195, 656, 732円)**

「福井県産業情報ネットワーク」(愛称:「ふくいナビ」)の機器管理およびホームページやメールマガジンの運営を行い、中小企業支援機関における情報の共有化を推進しました。

○メールマガジン「ふくいナビ情報」購読者数 1, 916人 (28年度末現在)

**(13) ふくい創業者育成プロジェクト (8, 232, 337円)**

創業者向けのセミナーの開催や相談・助言を行うことにより、女性や若者、U・Iターン希望者などの創業への取り組みを支援しました。

①ふくい創業者育成体制整備

(ア) 創業マネージャー設置

創業から事業化までを寄り添いながら支援する創業マネージャーを3名委嘱し、産業情報センターに新設されたコワーキングスペースを拠点としたコミュニティの形成や、シェアスペースに入居する創業者等への支援を行いました。

○相談実績 323件

○ミニ勉強会の開催 27回 参加者数 89名

(イ) 福井ビズカフェ開催

創業セミナー・交流会「福井ビズカフェ」を開催し、創業に関する情報の提供や創業意識の醸成、創業希望者の発掘を行いました。

○開催回数 年8回 参加者数252名

②ふくい女性創業チャレンジ支援

(ア) 女性向け創業セミナー

女性の先輩起業家をメンターとして、ライフスタイルを「起業」に活かすプチ起業などの創業意識の醸成を図りました。

○開催回数 年6回 参加者数165名

(福井・坂井4、丹南1、嶺南1)

(イ) 女性創業窓口設置

ふくい女性活躍支援センター（運営：(公財)ふくい女性財団）内に、創業を希望する女性に対する相談窓口を月2回、定期的に設置し、創業に関する課題に対して助言を行いました。

○相談件数 67件

(14) 起業・創業促進 [独立行政法人中小企業基盤整備機構委託] (110, 699円)

創業補助金を取り扱う福井県の地域事務局として、既に採択を受けて創業や第二創業に取り組んでいる中小企業等へのフォローアップ等を行いました。

(15) 経営革新等計画サポート ( - )

①経営革新計画作成支援

中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新について、中小企業診断士の資格を持つセンター職員が、ヒアリングや現地訪問を通じて計画書作成に関する助言等を行いました。

○経営革新承認件数 12件

**販路開拓支援に関する事業【公益目的事業2】(77, 091, 043円)**

県内中小企業が必要とする発注情報を収集・提供し、受注の安定および自社開発製品・技術等の国内外への販路開拓を支援しました。

(1) ふくいフード販路開拓支援 (1, 157, 804円)

県外への販路開拓を希望する食品関連業者を対象に、WEBサイト等を活用した商品情報の提供や食品バイヤーとの個別取引マッチングなどを行いました。

また、大手食品卸売業と連携し、卸売業者のネットワークを活かした展示商談会を開催しました。

①食品バイヤー向けWEBサイト「バイヤーのための福食市」の運営

○登録企業数 85社 (掲載商品累計248品)

②取引マッチング支援

○**新** テレビショッピング・商談会の開催 計9回

ジュピターショップチャンネル(株) 1回 参加企業数 10社

伊藤忠食品(株) 1回 参加企業数 6社

国分グループ本社(株) 1回 参加企業数 2社

(株)日本アクセス 3回 参加企業数 計19社

カナカン(株) 2回 参加企業数 計7社

オイシックス(株)、(株)シェルガーデン、(株)サンクゼール、(株)五味商店

1回 参加企業数 計32社

○商談会やWebサイトでの取引マッチング件数 477件

(2) 取引マッチング (3, 984, 676円)

①受発注情報等収集提供

(ア) 取引あっせん業務

○受発注企業の新規登録数 200社 取引あっせん紹介件数 300件

(イ) 県内受注企業の情報収集・提供

インターネットを活用して県内企業の製品や保有技術を情報発信し、県内外の企業との取引マッチングのサポートを行いました。

また、県内企業の販路拡大を図るため、県外で開催される展示会および金融機関が開催する展示会に出展し、福井県のものづくり企業の保有技術や製品を紹介するとともに取引マッチングを行いました。

○ビジネスマッチングステーション((公財)全国中小企業取引振興協会のマッチングサイト)への新規登録数 13社

(県内登録企業総数 216社)

○新価値創造展2016 in 東京 来場者数 30,042人

○その他金融機関等が開催する展示会

しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2016

(ウ) 発注企業開拓調査

県内中小企業の受注機会の増大と取引の広域化を図るため、県外の発注企業における生産ならびに外注企業利用の現状と今後の計画等を調査しました。

(エ) 合同広域商談会の開催

近畿6府県、四国4県および鳥取県の計11府県の支援センターと(公財)全国中小企業取引振興協会が連携し、合同商談会を開催しました。

○モノづくり受発注合同広域商談会(大阪)

参加受注企業386社 うち本県企業 8社 商談件数 31件

○近畿・四国合同広域商談会(京都)

参加受注企業478社 うち本県企業 7社 商談件数 24件

(オ) その他

近畿経済産業局の販路マッチングナビゲート事業や中小企業基盤整備機構の販路開拓コーディネート事業等の紹介を行いました。

(3) 下請かけこみ寺 [(公財)全国中小企業取引振興協会委託] (470,694円)

下請取引の適正化を推進するため、「下請かけこみ寺」において、専門家による相談対応や紛争解決の支援を行いました。

①相談業務

中小企業の取引に関する相談窓口「下請かけこみ寺」を設置し、専門家が対応しました。また、下請取引上で発生した苦情やトラブルについて、登録弁護士が無料で相談に応じました。

○相談件数 76件

○無料弁護士相談 16件

②裁判外紛争解決(ADR)業務

中小企業者が抱える下請取引等に関するトラブルを、裁判外紛争解決(ADR)手続きにより調停を実施し、迅速な解決を図るため、県内企業に対して制度の紹介など普及啓発を行いました。

③移動相談会等の開催

中小企業者の取引に関する相談について、登録弁護士が出向き「移動相談会」を開催しました。

○開催回数 17回 相談件数 11件



**(4) 取引情報提供 (2, 251, 028円)**

県内外の優良企業からの発注情報を広く収集し、県内企業に対して適時適切な情報提供を行い、受注機会の増大に努めました。

**(5) 海外事務所運営管理 (29, 853, 921円)**

福井県が中国に開設している上海事務所の運営管理を行いました。

**(6) ふくい貿易促進機構運営 (13, 195, 421円)**

アジア市場における県内企業の販路拡大を促進するために県と経済界等が設立した「ふくい貿易促進機構」において、県とともに機構の活動拠点である「ふくい上海ビジネスサポートセンター」、「ふくいバンコクビジネスサポートセンター」および「ふくい貿易促進プラザ」の管理運営等を行いました。

○ふくい上海ビジネスサポートセンター	相談件数	745件
○ふくいバンコクビジネスサポートセンター	相談件数	678件
○ふくい貿易促進プラザ(福井商工会議所内)	相談件数	122件
○タイ眼鏡バイヤー招聘による個別商談会	訪問企業	18社
○バンコクものづくり商談会2016	参加企業	県内 7社
○上海ものづくり商談会2016	参加企業	県内10社
○食文化提案会・商談会(香港、シンガポール)	参加企業	18社
○福井・台湾企業ビジネスマッチング会	参加企業	7社
○台湾販路開拓プロモーション	参加企業	19社
○食品バイヤーへの食文化提案会・商談会	参加企業	県内13社
○ハノイものづくり商談会2017	参加企業	県内 3社

**資金支援に関する事業【公益目的事業3】(500, 802, 357円)**

地域資源を活用した商品開発や経営の多角化等に対する資金支援、必要な設備の割賦販売またはリース等を行いました。

**(1) ふくいの逸品創造ファンド(89, 855, 000円)**

①ブラッシュアップ支援

企業の地域資源を活用した事業展開を促進するために、ビジネスプラン作成講座や意識啓発セミナーの開催、個別の事業計画磨きなおしを行いました。また、助成した商品の販路開拓を支援するため、スーパーマーケット・トレードショー2017(会場：幕張メッセ)への出展支援を行いました。

○説明会・セミナー開催	13回	受講者数	305人
-------------	-----	------	------

○スーパーマーケット・トレードショー2017 出展

1回 6社 来場者数 86,768人

さらに、本県の地域資源である眼鏡や繊維などを活用して開発・製造したウェアラブルデバイスおよび素材等を、首都圏で開催される展示会へ共同出展し、技術開発および販路開拓のためのマッチングを支援しました。加えて、県内企業の「IoT」「ウェアラブルコンピュータ」分野へのビジネス展開の支援を目的として、本分野に関して第一線で活躍する専門家を講師に招いた勉強会を開催しました。

○ウェアラブルEXPO2017共同出展 1回 8社

来場者数15,763人(主催者発表)

○IoT&ウェアラブル関連端末勉強会 7回 受講者数 301人

②創業支援

創業者が行う地域の需要や雇用を創出する取り組みに対して、起業・創業に必要な店舗等の賃料やマーケティング調査、広報等の経費の一部を助成しました。(助成率2/3以内 助成限度額200万円)

○対象者 県内で新たに創業する者または創業して5年以内の者

○採択者数 22件 交付決定額 37,314千円

③企業等への助成

地域資源を活用した創意工夫ある取り組みを幅広く支援するため、ふくいの逸品創造ファンドの運用益で助成を行いました。

○対象

- ・恐竜ブランドを活用して行う新商品の開発、販路開拓
- ・スポーツ、医療関連分野への展開を図るために行う新商品の開発、販路開拓
- ・おもてなし産業への展開を図るために行う新たな土産品の開発、販路開拓
- ・地域資源(福井の強み)を活用した新商品の開発、販路開拓
- ・各産地の企業が連携し、新商品の開発等に係るモデル的取り組み(繊維・眼鏡・伝統工芸品・農商工・小規模企業)

○新規採択事業数 29件 交付決定額 70,133千円

(2) ふるさと企業育成ファンド(104,151,869円)

①新分野展開スタートアップ支援

県内中小企業の元気再生につなげるため、ふるさと企業育成ファンドの運用益で、新分野展開を行う中小企業者が、既存事業の経営資源を活用した経営の多角化等に対して助成しました。(助成率2/3、助成限度額1,000万円)

○新規採択事業数 9件 交付決定額 79,847千円

②ものづくり人材育成修学資金貸付支援

ふるさと企業育成ファンドの運用益で、ものづくり企業（県内に本社を有する製造業または情報系サービス業）に就職を希望する県内外の理工系大学院生（修士課程・博士課程）に対して、修学資金を貸与しました。

○貸与決定学生数 20名 貸与額 20,880千円（月6万円／人）

※修了後、7年間継続勤務すれば全額免除

(3) ふくいの老舗企業チャレンジ応援（58,702,114円）

地域に親しまれている老舗企業に対し、事業継続に必要な店舗改装等の取組みにかかる経費の一部を助成しました。（助成率 2/3 助成限度額 300万円）

○対象事業 創業から30年以上を経過し、商工会・商工会議所と連携して事業計画を策定する小規模事業者に対し、店舗改装等の経費を助成

○採択事業数 26件 交付決定額 59,885千円

(4) ⑧ 来住者IT創業支援（0円）

本県に不足する専門的技術者のU・Iターンを促進するため、県外から移住し情報関連分野等で開業する者を対象として創業経費の一部を助成する「よろず来住者支援補助金」を募集しました。

(5) 設備貸与（212,456,362円）

小規模事業者等の創業および経営基盤の強化に必要な設備の割賦販売またはリースを行いました。また、利用企業に対して状況調査および民間診断員、支援センター職員による巡回指導などを実施しました。

[事業実施状況]

○貸与・リース実績 7件 72,290千円

[債権管理状況]

○正常債権の状況

年度末残額 445百万円（割賦364百万円、リース81百万円）

○未収債権の状況

年度当初未収債権額 30.4百万円（6件）

年度内増加額 0百万円（0件）

年度内減少額 5.5百万円（6件）

年度末残高 24.9百万円（5件）

[利用状況調査および巡回指導事業の実施状況]

○利用状況調査 45件 巡回指導の実施 45社

(6) 資金管理 (90,000円)

創造的企業高度化間接投資事業の債権管理事務を行いました。

**技術開発・デザイン振興に関する事業**

**【公益目的事業4】(334,333,565円)**

未来の県内産業を支える企業のモノづくりのための技術開発、新技術の研究開発、国や他機関の公募型の受託事業および補助事業を活用した産学官の緊密な連携・交流、商品企画やデザイン開発力の向上のためデザイナーの派遣や研修、大都市圏で活躍するバイヤー等による商品求評会などを通じて、技術開発・商品開発の促進、経営基盤の強化等を総合的に支援しました。

(1) ふくいブランドものづくり推進

①ふくい産業技術広報 (936,904円)

技術情報を掲載した機関誌「テクノふくい」の発行や、大学や公設試の技術シーズ展示等を実施しました。

○機関誌発行 2回 発行部数500部/回

○展示会出展 (北陸技術交流テクノフェアなど)

②ふくい新技術・新工法展示商談会 (3,442,110円)

県外大手企業等が要求する技術ニーズや製品等と県内企業の技術シーズや製品とのマッチングを図るため、福井県自動車部品製造協会と共同で全国規模の自動車産業関連の展示商談会に出展しました。

《H29.1.18~20 オートモーティブワールド2017(会場:東京ビッグサイト)》

出展企業・機関数:9(7社、2機関) 商談件数:28件

③技術研究開発マンパワー育成 (818,466円)

将来の技術研究開発を担う人材を育成するため、繊維分野における優秀な県内技術者・研究者3名を表彰しました。また、若手技術者・研究者の海外展示会での先端技術の発表に対して助成しました。

○表彰 繊維技術功績賞 3名

○助成 次世代技術国際発信支援 2件

④オープンイノベーション推進部運営 (4,189,394円)

産学官連携の推進を図るための事務を行いました。

## (2) 産学官連携・交流

### ①産業技術コーディネート（121,906,786円）

先進施設等の調査を行い、また企業の技術者とともに大学研究室訪問を実施するなど、技術ニーズと研究シーズのマッチングのためにコーディネート活動を行いました。

○IR交流会の開催 164回

○FOIPセミナー開催 3回 受講者数310名

○研究会支援 3件

（福井県繊維技術協会、福井県異業種交流推進協議会、  
ふくい宇宙産業創出研究会）

○産業技術振興先進地調査

富山県の航空機産業の取り組みを調査

参加者：23名（企業：11、銀行：5、大学：2、県等：5）

### ②**新**産総研等連携推進（1,684,295円）

産業技術総合研究所（産総研）福井サイトのイノベーション・コーディネータと連携して産総研のシーズと県内企業のニーズのマッチングを行いました。

また、産総研との共同研究に向けた可能性試験調査研究（FS）を支援しました。

・マッチングイベントの開催 5回

・産総研連携研究支援（可能性試験調査研究） 4件

### ③研究開発創出・補完研究開発支援（615,230円）

当センターがこれまでに推進してきた産学官共同研究プロジェクトの成果を活用し、実用化を目指して研究開発していく企業の補完研究を支援しました。

その他、冊子「産学官共同研究プロジェクト」を作成・配布しました。

## (3) 広域的連携技術研究開発

### ①戦略的基盤技術高度化支援〔経済産業省補助〕（510,549円）

中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律に基づく技術分野の向上につながる研究開発からその試作までの取り組みを支援しました。

[研究テーマ]

A Ti50Ni合金の組織緻密化による細径収縮／高耐久性／高自己拡張型ステンツの開発

B プレス式水冷システムを用いた双晶組織形成制御による高音質なシンバル用高錫濃度ブロンズ合金の開発

C 低侵襲治療用医療機器に最適なチタン系高強度・高靱性素材の開発

[研究期間]

A 平成28年度～平成30年度（3年間）

B 平成27年度～平成29年度（3年間）

C 平成26年度～平成28年度（3年間）

②北陸ライフサイエンスクラスター支援 [文部科学省補助事業]

富山県、石川県、福井県の北陸3県が一体となり、北陸地域において「健やかな少子高齢化社会の構築をリードするライフサイエンスクラスター」の形成を目指した予防や診断、治療分野における取り組みについて、当センターは、総合調整機関である一般財団法人北陸産業活性化センターのブランチとして、地域連携コーディネータの環境整備や、情報提供等を行いました。

[研究テーマ]

○地域イノベーション戦略支援プログラム(国際競争力強化地域)

「健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスター」の形成

[研究期間] 平成25年度～平成29年度（5年間）

③研究成果展開(スーパークラスタープログラム)[独立行政法人科学技術振興機構受託]  
(79,868,030円)

京都地域および愛知地域の「コアクラスター」の「サテライトクラスター」となっており、戦略テーマである『クリーン低環境負担社会実現ネットワークの構築』を実現する「スーパークラスター」を形成するため、当センターが代表機関となり、研究参加機関の研究開発を支援しました。

[研究テーマ]

A 分散型ロードレベリング実現・実証に向けた福井地域基盤産業技術統合化クラスター

B GaN系半導体のパワーデバイス応用に関する研究開発

[研究期間] A・B 平成25年度～平成29年度（5年間）

④中小企業等外国出願支援(6,370,920円)

知的財産を活用して、海外へ事業を展開しようとする中小企業に対して、戦略的な国際特許等出願の支援を行いました。

○支援企業数 8社 10件

⑤北陸産地繊維産業力集結事業（14,969,779円）

[企業連携体による新商品開発・販路開拓活動支援（助成事業）]

北陸合繊産地において、福井県、石川県の企業が固有の技術・ノウハウをもとに県域を越えた連携の下に行う新商品開発・販路開拓を支援しました。

（助成率 2/3 助成限度額1,000万円）

[助成事業]

- A ポリエステル糸で製織する帯の軽量化技術の研究および商品開発
- B 機能性・生産性の高いアセテート複合素材の開発
- C 高発色天然繊維ライク合繊テキスタイルの開発と国内外販路開拓事業
- D 乾電池・充電池等を使わずプラスチック光ファイバー、有機EL等の側面発光繊維等を組み込んだ夜間交通安全・防犯ウェア生地や細幅平ゴム・ゴム紐の開発及び販路開拓事業

[北陸産テキスタイルの販売力強化に向けた両県産地合同展示会]

両県企業が連携して開発した北陸産テキスタイルを展示会等に出展し、産地としての受注拡大を支援しました。

- 三越伊勢丹商談会
- 東京インターナショナルギフトショー
- フクイテキスタイルコラボ展

⑥研究開発フォローアップ（41,655,319円）

戦略的基盤技術高度化支援等の受託事業について、事後のフォローアップ等を行いました。

（4）受託研究・共同研究（8,445,536円）

県内ものづくり企業等の技術・製品の成長分野への進出を促進するため、県外企業等から研究に要する経費を受入れ、オープンイノベーション推進機構をとおして、受託研究や共同研究を実施しました。

（5）技術情報化推進（977,996円）

福井県工業技術センターの技術開発成果等をインターネットや小冊子で広く周知する事業を福井県から受託して行いました。

（6）デザイン情報提供（411,388円）

①デザイン情報の収集・発信

さまざまなデザイン情報を収集し、インターネットや情報誌などを用いて、県内企業やデザイナーに情報を配信しました。

②デザイナーバンクの整備

県内デザイナーを活動別に分類・登録し、企業等に紹介しました。

○登録公開デザイナー数 144名

③デザイン指導相談

繊維、伝統工芸、食品加工分野等の企業が抱えるデザインに関する課題に対して、職員が相談および指導を実施しました。

○指導相談件数 1002件

④職員の派遣(審査員、委員、講師等)

福井広告賞、福井県デザインコンクール等に審査員として、また女性起業家セミナーの講師等として職員を派遣し、デザイン啓発支援を行いました。

(7) 産業デザインプロデュース (3,045,710円)

①デザイナー派遣

商品企画、デザイン開発、販路開拓等、個々の企業の要請に応じ、専門デザイナーを派遣し、具体的な実務を伴う指導を行いました。

○デザイナー派遣数 6社(30回)

※参考 [類似事業] : 中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援 (近畿経済産業局 ミラサボ専門家派遣)

派遣先企業数 3社(9回)

②グループカウンセリング

組合、団体、企業グループを対象に市場動向、商品企画、デザイン評価等共通する課題に対し、日本の第一線で活躍しているデザイナー等の指導による集合カウンセリングを行いました。

○グループカウンセリング 12グループ(15回)

(8) 国体商品企画トータルサポート (1,178,249円)

県内企業から提案のあった、福井国体を契機として販路拡大効果が見込まれるものや将来にわたって販売増が見込まれる商品開発に対し、専門家を派遣し企画のブラッシュアップ、マーケティング手法に対するアドバイスを行いました。

○デザイナー等専門家の派遣 5社(29回)

(9) 福井デザインアカデミー (4,988,334円)

県内中小企業の商品開発担当者に対して、デザインマネジメントや商品開発手法、デザインプロモーション戦略等に関する研修を実施しました。また、産地の社会的課題をテーマに定めて、テーマに沿った優れたプロダクトを紹介する展示会を実施。また、展示するプロダクトをデザインしたデザイナー等によ



る講演会を行い、デザイン開発の具体的な事例を紹介しました。

○デザインセッション 受講者数：196名（展示来場者数 1,491人）

○ブランディング&商品開発講座 受講者数：16名

#### (10) デザイン研修（715, 419円）

小規模企業の商品開発担当者や若手デザイナーを対象に、商品企画や製品デザイン開発に関する基礎研修を開催しました。

○デザイン基礎コース 受講者数：20人

#### (11) ふくいプロダクト販路開拓支援（668, 957円）

第一線で活躍している大規模小売店等のマーケット企画担当者やデザインプロデューサー等を招いて、企業のブランド商品の作り方、売り方およびプロモーション等のサポートを行いました。

○商品求評会 参加企業数：9社

#### (12) 福井ものづくりキャンパス教室運営事業（2,729,260円）

福井ものづくりキャンパスを、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点として活用するために、ものづくり企業、職人、デザイナー、学生など幅広い層を対象に講座・教室等を開催しました。

○講座・教室

- ・キッズ探検隊 参加者数：20組49名
- ・ティータイムトーク 参加者数：25名
- ・デザイン基礎コース 受講者数：59名
- ・ビギナーズラボ 機器活用講座受講者：38名
- ・クラフトマルシェ 来場者数：1,280名  
出展企業数：8社
- ・空飛ぶものづくり文庫

### 人材育成に関する事業【公益目的事業5】（124, 579, 356円）

企業等の経営者、管理者および技術者等の育成と能力向上を図るための研修を実施しました。

#### (1) 人材育成《集合研修》（5, 690, 278円）

多様な企業のニーズに応じた研修テーマを設定して、集合研修を実施しました。

○コーチングやマーケティングなどの講座 13講座 受講者数 280人

(2) 福井県中小企業産業大学校運営 (53,096,025円)

① 中小企業産業大学校施設運営

指定管理者として、県内中小企業における研修や会議等に必要な経営者や従業員の経営管理または技術に関する研修等に必要な施設・設備の提供や、維持管理等の運営業務を行いました。

○施設貸出件数 1,940件

② 経営・技術人材育成

中小企業の経営者、管理者および技術者等の育成と能力向上を図るための研修を実施しました。

○新社会人研修や現場改善などに関する研修 19講座 受講者数 502人

○眼鏡およびその他の専門分野の

生産技術に関する研修 4講座 受講者数 67人

○公開講座 4講座 受講者数 356人

③ 学びなおし支援

中小企業産業大学校に、「学びなおしサポートセンター」を設置し、働きながら大学で学ぶなどスキルアップを目指す従業員の学びなおしを支援しました。

○大学等の講座情報の収集および提供

○自主学习支援ブースの設置 利用人数 831名

○通信制大学の入学説明会等の誘致

入学説明会(合同入学説明会 1回 22大学参加、個別入学説明会 6回)

科目試験 1回 スクーリング 1回

○キャリアアップに関する相談実施

相談件数 専門家 3件 職員 26件

(3) ④ ものづくり企業生産性向上支援 (12,332,958円)

県内ものづくり企業を訪問し、生産現場の問題把握や業務改善の助言・指導を行う人材を育てる「福井ものづくり改善インストラクタースクール」を開講しました。

○スクール開講記念講演会

受講者 : 90名

○福井ものづくり改善インストラクタースクール

受講者 : 13名

○ものづくり改善インストラクターフォローアップ研修

○ものづくり改善インストラクタースクール成果発表会

## 企業等の個別の要望に対して実施する経営支援等に関する事業

### 【収益事業1】（12,087,280円）

中小企業等の成長促進のため、公益事業で行っている事業では対応のできない、企業等が求める個別具体的な課題解決に対し、専門性の高いニーズに対応するため、当センターが持つ支援機能およびネットワークを活用して支援を行いました。

#### （1）経営コンサルティング（1,089,921円）

企業の現状分析・課題の抽出・改善策の提案を行なう企業診断を実施しました。診断後、継続的なフォローや提案内容の実践に対する助言を希望する企業については、コンサルティング事業を行いました。

○実施件数 17件（診断3件、コンサルティング14件）

#### （2）教育コンサルティング（5,331,954円）

個々の企業の状況に合わせたオーダーメイドの研修プログラムを提案・実施しました。

○実施件数 18件（10社）

#### （3）デザイン受託（3,838,946円）

自治体、公共団体や各種団体等からデザイン制作等を受託して、県内デザイナーを活用して制作しました。

○受託件数 4件

#### （4）企業情報ホームページ管理（110,100円）

県内企業の受注を促進するため、各企業の技術や設備を紹介するホームページ「元気企業Webサイト」を開設し、情報の提供を行いました。

○掲載企業数 160社

## 法人事業（163,138,994円）

事務所および情報機器等の借上・運営や、資質向上を図るための職員の研修など、法人の運営・管理を行いました。

①法人運営に要する事務局経費

②職員能力開発強化

職員の資質向上を図るため、中小企業基盤整備機構の中小企業大学校で開催される研修等に職員を派遣しました。

○研修派遣職員数 4人